

# 支部の活動報告

## 小豆支部国語部会

小豆・土庄中 渡邊美和

### 1 研究主題

生きて働く力を育む国語教室

～言葉による見方・考え方を働かせた主体的・対話的な学び～

### 2 研究活動の概要

(1) 4月16日(水) 土庄中学校

- ① 本年度の役員を選出
- ② 研究主題の設定
- ③ 本年度の活動計画

(2) 6月11日(水)

講話「国語科におけるICTを活用した授業づくり」についての実践例及び評価について

講師 香川県教育センター  
指導主事 稲毛 晶

(3) 9月11日(木) 土庄中学校

研究授業・研究討議

### 3 研究内容

(1) 研究討議

「国語科におけるICTを活用した授業づくり」についての実践例及び評価について

① 生成AIの特性

ア 「体感→思考・表現→学習」か「学習→思考・表現→体感」のいずれの流れで生成AIを活用すればよいか。どの順番で学ばせるのか。

イ 生成AIを使いこなすことを前提に、豊かな人間性や問題の本質を問うこと、課題の発見や設定することの重要性が

高まっている。

ウ 初等中等教育段階における生成AI利活用に関するガイドラインを理解する。

② 生徒への学習指導にかかわる業務

ア 授業での発問に対する生徒の回答シミュレーションを行う。

イ 授業で使用したワークシートや振り返りの内容を基にテスト問題の素案を作成する。

③ 生徒の学習場面における活用

ア 生成AIを活用する(文章の推敲やプログラミング支援・学習理解の補助や評価)。

イ 生成AIの回答を鵜呑みにしない(生成物をそのまま提出・応募する、教師の評価や指導をAIに任せる、教師の関わりを省いてAIに相談させるなど)。

ウ サービスごとの年齢制限を確認する。

④ 学校の運営にかかわる業務での活用

・ 保護者会・授業参観・保護者面談の日程調整

(2) 研究授業

授業者 土庄中 秋田 知里 教諭

1年 「情報収集の達人になろうー私の『SDGs行動宣言』」

① 本時の目標

集めた情報の中から、根拠として適切な情報を整理することができる。

② 学習指導計画

ア 生活と関連付けながらSDGsについて調べるテーマを決め、情報集めの基礎知識を理解する。

イ 引用の仕方や著作権について学び、

本やインターネットを使って収集した情報を記録カードにまとめる。

ウ 集めた情報から、自分の意見の根拠として適切な情報を整理する。

エ 「SDGs 行動宣言」を作成し、班ごとに引用などが適切であるかを確認し合う。

### ③ 本時の学習活動

ア 情報を扱うときの留意点を確認する。

イ 意見と根拠の関係について理解する。

ウ 集めた情報の中から、ワークシートに根拠として扱う情報を整理する。

エ 本時の振り返りをする。

### ④ 授業討議

ア 授業説明

- SDGs の 17 の目標と生徒の生活を結び付け、当事者意識をもって取り組めるように、実際の報道やホームページを例示し、興味や関心を高められるようにした。また、作成した「SDGs 行動宣言」を班で評価し合うことについて、引用の仕方や出典を明記することについて確実に理解できるようにした。
- 意見と根拠の関係について対話する活動に至るまでの教員の説明する時間が長かったので、意見と根拠を結び付けるための練習をしてから活動に入ればよかった。
- 「理由付け」「事実」について生徒が理解できていなかったため、説明が必要だった。

イ 授業討議

- 単元を組み合わせて授業を構成することで学習の深まりや定着の促進につなげることができていた。ただ指導内容が多岐に渡りすぎるため、「情報を選ぼう」に視点を置いた方がよかった。
- 名探偵コナンの例と教科書とで意見と根拠の関係について説明することで、

生徒が主体的に取り組むきっかけとなる関心・意欲を引き出せていた。

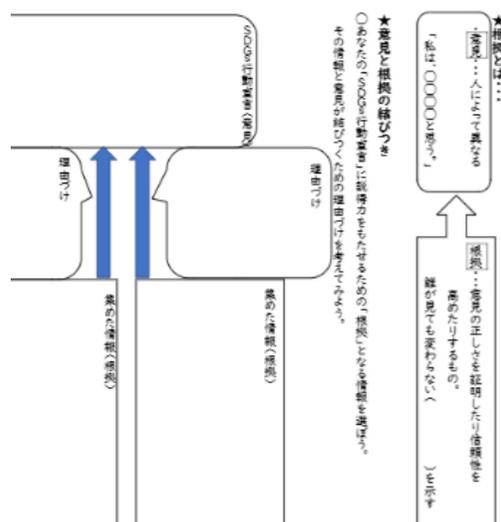
- 現状の課題や取組などの観点を明確にすればよかった。また、評価基準を視覚化すればさらにわかりやすかった。

ウ 指導・助言

香川県教育センター

主任指導主事 一田 幸子

- 行動宣言は数値を入れると具体的になる。また、作成した行動宣言が単なる目標提示で完結せず、生徒の実行力を高めるための決意となるよう指導できればよい。
- 本時は、行動宣言と根拠を結び付ける理由付けも含めて取り扱っていたが、1年生では根拠と宣言文が書けていればよい。



## 4 成果と課題

今年度は、生成 AI について知り、国語科の授業でどのように活用すればよいかについて研修できた。指導していただいたポイントを踏まえ、生徒の批判的思考力を育てていくことで、生きて働く国語の力につながるような授業研究を進めていく。